



「中の橋（太陽の橋）」は、北九州市の紫川マイタウンリバー整備事業の一環として架橋されたもので、人通りの多い市庁舎に近い位置にあるために、市の花で太陽の花とも呼ばれるヒマワリをデザインに取り入れ、また付近から望める山々に太陽が昇っては沈むことから、そのコンセプトを太陽の橋とした。

橋の下流側の歩道には磁器質タイルにより巨大なヒマワリが描かれており、七体のオブジェが設置されている。このオブジェは太陽の光を造形のエレメントとし、光によってできる影がヒマワリに映るよう施工されている。また、上流部の歩道タイルは、山並みを表現した波形の高欄の影が太陽の光によって映し出される構造になっており、夜間はライトアップにより橋全体が浮かび上がる。



DATA・BOARD 88

- ① 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目～城内
- ② 延長：80m、車道幅員：18.5m、歩道幅員：5.5～15.5m
- ③ オブジェ、高欄、照明灯ほか
- ④ アルミニウム、磁器質タイルほか
- ⑤ 小倉祇園太鼓、わっしょい百万夏祭り



88

なか
はし
中の橋（太陽の橋）

● 出会いを演出する街角